

エコプラザ西東京ニュース



エコエコ

No-67

発行 エコプラザ西東京

〒202-0011

東京都西東京市泉町3丁目12番35号

TEL 042-421-8585

FAX 042-421-8586

E-mail ecoplaza@city.nishitokyo.lg.jp

生きもの、いろいろ

今号では、エコプラザ西東京が実施した”生きもの”関連の講座をいくつかご紹介いたします。

<庭からはじめる生物多様性>

10月11日には、「庭からはじめる生物多様性～国内初の住宅街における個人自然共生サイト*見学会～」を開催しました。見学場所であるO's gardenは、NHK「ダーウィンが来た！」や日本テレビ「所さんの目がテン！」でも紹介された、生きもの好きの間では噂のスポットです。家主の小田部家信さん（Wildlife—friendly gardener）に講師をお願いし、庭の美しさを楽しみながら、生きものにも配慮するガーデニングを学びました。

庭の見学後、訪問したロッジでは、”自分の庭にもっと蝶を呼びたい”、“水辺をつくってみたがうまくいかなかった”等々の相談・経験談が寄せられ、とても楽しく、なごやかな意見・情報交換の場となりました。



左の写真は小田部
家信さんから提供
いただきました。
O's garden のHP
はこちら



* 自然共生サイトとは、環境省が認定する「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」のことです。O's gardenは、自然共生サイトの制度がはじまった令和5年度、個人宅として初めての認定事例となりました。

<ペットを連れた避難を学ぶ>

10月25日には、「災害時ペットとの避難で知っておくべきポイントを学ぶ」をエコプラザ西東京にて開催しました。地球温暖化により豪雨災害が多発している昨今、出水時の避難は市民にとっても身近な問題になっています。この問題は飼い主とペットの命と安全にも関わる話です。

エコプラザ西東京は、風水害時のペット同伴の自主避難所となっています。本年7月には、「西東京市ペットの避難受入に関するガイドライン」も示されました。このような背景を踏まえ、今回、西東京市地域猫の会会長の菅原美穂さんに講師をお願いし、ガイドラインに出てくる用語の解説から、先行事例、避難に必要となる具体的な資材まで、わかりやすくご説明をいただきました。



西東京市役所 HP
(災害時にペット
を守るために) は
こちら→



西東京市地域
猫の会の HP
はこちら→



<公園で学ぶ生物多様性>

11月15日には、「公園で学ぶ生物多様性～小金井公園での取組見学会～」を開催しました。小金井公園副園長の菅澤啓さん、管理係の川口陽士さんに園内を案内いただき、樹木の管理やバイオネストの取組について解説いただきました。バイオネストは、園内で発生した枝や葉で作ったコンポストのことと、近隣の小学校といっしょに制作されているそうです。資源循環の取組であり、ミミズ類、昆虫類、カエル類の格好の棲みかを提供する生物多様性保全の取組でもあります。園内のバードサンクチュアリでは、小金井公園野鳥の会会長の永田和男さんに、サンクチュアリ設定の経緯や近年の野鳥の出現状況について解説をいただきました。普段、知ることのなかった小金井公園の新たな一面を学んだ見学会でした。



小金井公園のHP こちら→

<野鳥観察会等>

12月6日には、井口豊重さん(むさしの自然史研究会)に講師をお願いし「野鳥観察会(初冬の渡り鳥)」を石神井川・武蔵関公園で開催しました。常連のカワセミたち、この時期にやってくるカモ類、そして新たなゲストやお久しぶりの鳥に出会える定例の観察会です。今回のゲストは日本最小の鳥キクイタダキでした。観察会の1週間前に行った下見では、近年分布が関東地方にも広がっているリュウキュウサンショウクイも確認されました。



今年の観察会でもカワセミやコサギがエサを捕食している様子をみることができました。これらの鳥を毎年観察できるのは、エサとなる水生生物が生息しているからですね。市内の貴重な水辺、石神井川の水生生物については、市役所の環境政策課が調査しています。

石神井川の水生生物調査結果はこちら→

西東京市生物多様性地域戦略 実行中

西東京市では、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本計画として、「西東京市生物多様性地域戦略」を令和6年3月に定めました。この地域戦略は、「生物多様性基本法」に基づくもので、生物多様性のもたらす恩恵（生態系サービス）を将来にわたり持続的に利用するために、「生物多様性国家戦略 2023-2030」に準じた取組方針を定め、進めています。

前述のエコプラザ主催講座のいくつかは、この地域戦略に示されている具体的な取組”生物多様性に関する環境学習・教育の推進”の一環として企画したもので、生きものに関わる講座・イベントは、来年度以降も順次、企画・運営する予定です。皆様のご参加お待ちしています。



教えて、ちきゅうくん



しつもん：そもそもエコプラザ西東京って何をやっているところなの？

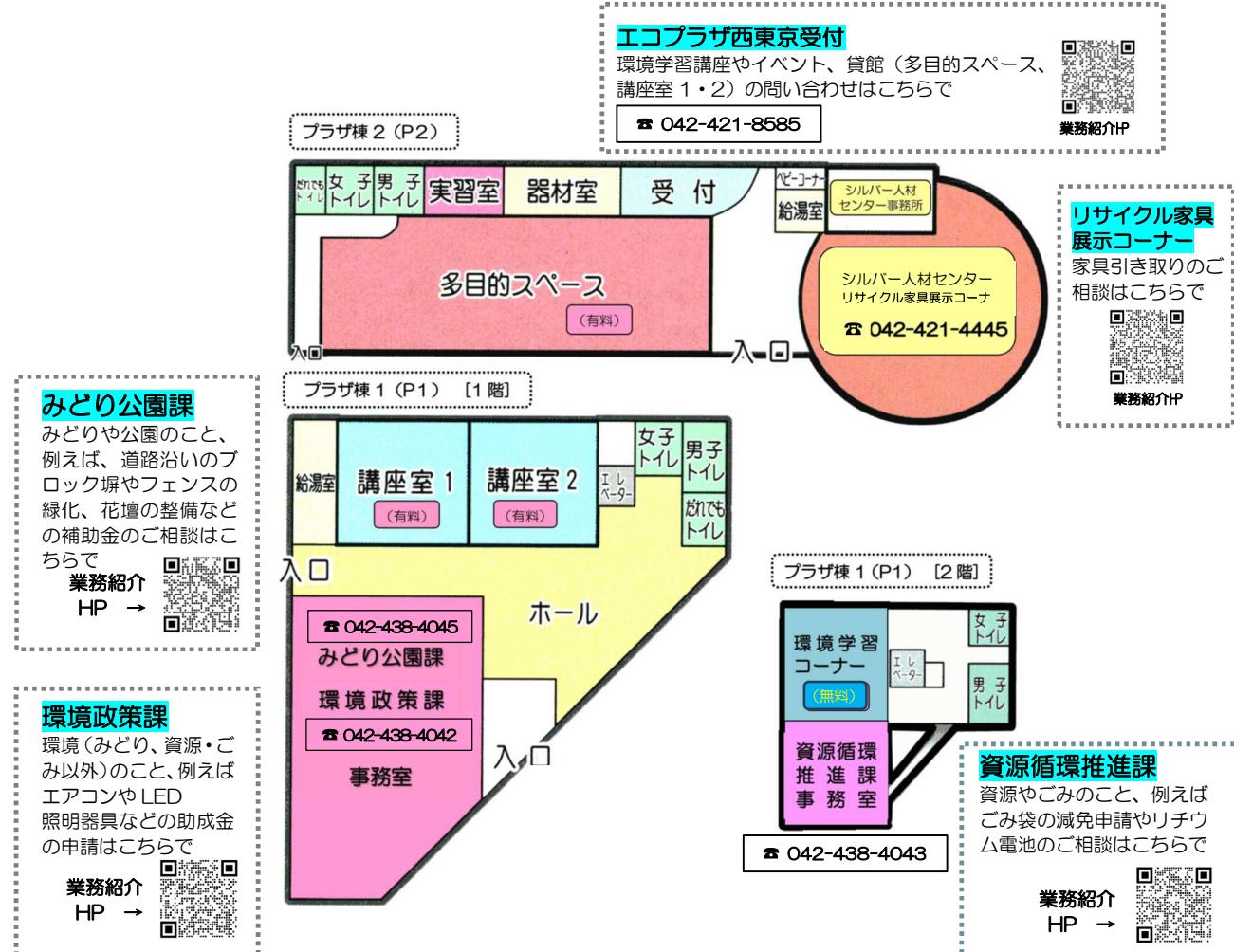
こたえ：エコプラザ西東京は、環境の保全と循環型社会の形成につながる活動の普及、支援、環境学習を行っている施設です。



エコプラザ西東京って何をやっているところなの？まわりの人聞いてみても、「エアコンや花壇などの補助金申請を受付けているところ」「リチウム電池を回収しているところ」「講座・イベントをやっているところ」「家具を売ってるところ」等、返答がまちまちです。



エコは”環境への配慮”、プラザは”人が集まる場所”という意味です。エコプラザ西東京は、西東京市のみどり・環境保全・資源循環に関する行政・法人・市民が集まり、様々な活動を行っている施設です。敷地にはプラザ棟1とプラザ棟2の二つの建物があります。プラザ棟1では、西東京市役所みどり環境部（みどり公園課・環境政策課・資源循環推進課）の職員が、プラザ棟2では、エコプラザ西東京事務員と、（公社）西東京市シルバー人材センター会員（リサイクル家具展示コーナー）が働いています。



ちなみに”エコプラザ”という名称がついた都内の施設は、エコプラザ西東京の他に、①目黒区エコプラザ、②港区立エコプラザ、③世田谷区エコプラザ用賀・リサイクル千歳台、④エコプラザ多摩があります。①～③はエコプラザ西東京同様、環境やリサイクルの活動・教育施設です。④のエコプラザ多摩（多摩市立資源化センター）は、資源の選別・保管・資源化を行う施設です。他のエコプラザさんへの問い合わせの電話がエコプラザ西東京にかかることもあります。

秋のお祭り、今年も大盛況

例年、秋には環境関連の2つのお祭りが行われています。ひとつは「環境フェスティバル」、もうひとつは「リユース祭り」です。

「環境フェスティバル」は西東京市民まつりの一環として11月8日・9日に開催されました。西東京いこいの森公園の環境ゾーンには16団体のブースが設けられ、多数のご来場をいただきました（西東京市民まつり全体で8万9千人）。エコプラザ西東京も「エコ工作」のブースを担当しました。



「リユース祭り」は、エコプラザ西東京にて11月22日（持込日）・23日（譲渡日）に開催しました。2000点以上の品物が持ち込まれ、譲渡日には約330名の方々が来場され、両日ともに大盛況でした。



「エコ工作」、「リユース祭り」でも、エコプラザ西東京協力員の方々に大変お世話になりました。いつもありがとうございます。今年の「にしうきょう環境アワード」では、10年以上ご協力いただいたエコプラザ西東京協力員5名の方々が奨励賞を授与されました。



エコプラザ西東京 令和7年度（1月～3月）の 講座・イベント予定



講座名	月日・会場	内 容
はぎれで作る「水筒カバー」	1月 17日（土） エコプラザ西東京	使用しなくなった布のはぎれを利用して水筒カバーを作ります。
エシカル消費！誰にでも今すぐできる社会貢献	2月 15日（日） エコプラザ西東京	エシカル消費とは社会・環境・人権に配慮した商品やサービスを選択する事で、誰にでもすぐに取り組めることを学びます。
野鳥観察(早春の渡り鳥)	2月 21日（土） 石神井川等	身近な野鳥に親しむ講座です。早春の野鳥観察をいっしょに楽しみましょう。
日本の伝統的な「エコバッグ」ふろしき活用講座	2月 22日（日） エコプラザ西東京	ふろしきは、日本に昔からあるエコで便利な道具です。エコバッグと同じように普段使いとして生活に取入れる事を学びます。
ざつがみばっぐ作り	2月 26日（木） エコプラザ西東京	家庭からでる「雑紙ごみ」を入れる袋を作ります。この袋に雑紙を入れて紙ごみの日に出せば、資源としてリサイクルできます。
ヨーヨーキルトのコースターを作ろう 不要になったはぎれ活用	3月 13日（金） エコプラザ西東京	はぎれを活用した小物づくり。今回はヨーヨーキルトコースター作りです！
健康を支える「発酵食品」の エコで役立つ話	3月 28日（土） エコプラザ西東京	「発酵」の仕組みと「発酵食品」の魅力について、楽しみながら学べます。

※講座・イベント情報の詳細はこちらから→

